

新規事業評価調書

【道路事業】

主要地方道 高砂北条線

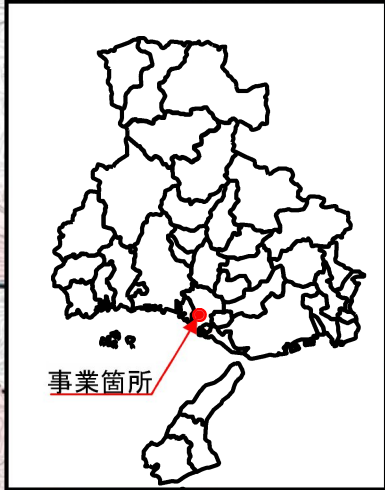
県土整備部

土木局 道路街路課

投資事業評価調書（新規）

部課室名	国土整備部土木局 道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路街路課長 田中 剛 (県道係長 金川 正敏)	内線	4362 (4376)	
事業種目	事業名	事業区間	総事業費	内用地補償費	着手予定年度	完了予定年度
道路事業	交差点改良事業 主要地方道高砂北条線 <small>たかさごほうじょう</small>	加古川市 東神吉町 西井ノ口 <small>ひがしかんきちょう</small> <small>にしいのくち</small>	約 9.0 億円	一億円	平成 26 年度	平成 30 年度
事業目的			事業内容			
<p>本路線は、高砂市の臨海部工業地帯と加西市を結ぶ道路である。</p> <p>また、国道 250 号(明姫幹線)、国道 2 号(加古川バイパス)、山陽自動車道を南北に連絡することから、東播磨地域にとって重要な役割を担っている幹線道路である。</p> <p>○渋滞交差点の解消</p> <p>加古川バイパスと交差する西井ノ口交差点は、前後が 4 車線にもかかわらず、交差点内は 2 車線とボトルネックとなっていることなどから、慢性的な渋滞や多数の事故が発生している。</p> <p>そのため、国土交通省の加古川バイパスのリニューアル整備とあわせ、交差点部の 4 車線化と自歩道整備を行い、渋滞の抜本的な解消と自転車・歩行者の安全を確保する。</p>			<p>【延長】 交差点改良 180m</p> <p>【構造規格】 第4種第1級</p> <p>【計画幅員】 4車線 両側自歩道4.0m 車道19.0m (全幅28.6m)</p> <p>【現道交通量 (H22センサス)】</p> <p>自動車交通量：26,926台/日 歩行者交通量：186人/12h 自転車交通量：1124台/12h</p> <p>【負担割合】</p> <p>国55% 県45%</p>			
評価視点		評価結果の説明				
(1) 必要性		<p>①西井ノ口交差点は、約27千台/日の交通量に対し、交差点内の直進車線数が不足（現況：片側1車線）していることから、朝夕を中心に頻繁に渋滞が発生しており、早期に対策が必要である。（県の「渋滞交差点解消プログラム」の対象交差点）</p> <p>②本交差点の渋滞により、朝夕には加古川バイパスにも渋滞が発生するなど、通勤や経済等に多大な影響を及ぼしている。</p> <p>③山陽自動車道（加古川北 IC）と臨海部工業地帯を結び、前後では 4 車線化整備を進めていることから、今後、さらに交通量の増加が考えられ、早期の対策が必要である。</p>				
○交通の円滑化及び安全性の向上						
(2) 有効性・効率性		<p>①交差点部の車線数を 4 車線に拡幅することで、ボトルネックが解消し、渋滞解消に有効である。</p> <p>②交差点部の 4 車線化にあわせ、右折車線の構造変更（内回り方式）により、円滑で安全な走行が可能となる。</p> <p>③両側に自転車歩行者用の BOX を新設することで、自転車・歩行者の安全を図る。</p> <p>④国土交通省の加古川バイパスのリニューアル整備（上り OFF ランプの拡幅等）と一体で整備を行うことにより、効率的な整備が進められる。</p> <p>⑤地元や関係機関との調整を図り概ねの合意を得ていることから、円滑な事業実施に向けた協力体制が整っている。</p>				
(事業執行環境)						
(3) 環境適合性		<p>①渋滞解消により、大気汚染・騒音等が大幅に緩和され、沿道住民の生活環境の改善が図れる。</p>				
(4) 優先性		<p>①「渋滞交差点解消プログラム」の交差点で、早急な渋滞解消を図る必要があり、国土交通省の加古川バイパスのリニューアル整備（H26着手）とあわせ、効率的な整備を図る。</p>				

主要地方道 高砂北条線 位置図



事業箇所

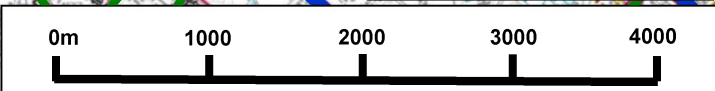
事業箇所

加古川西市民病院
(2次救急医療)

高砂市

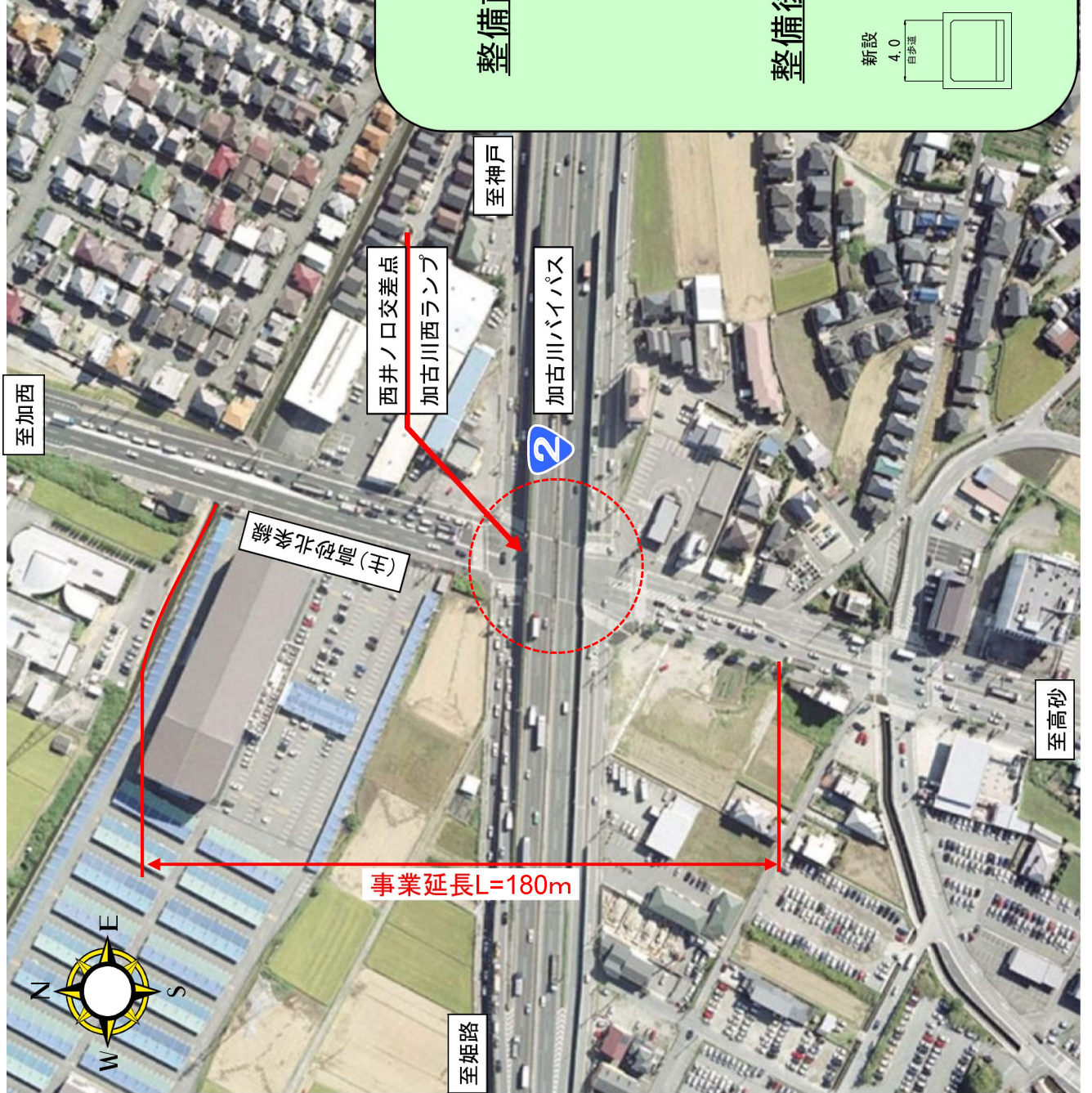
加古川市

- 凡 例
- 自動車専用道路
 - 国道
 - 県道



道路-2

全体計画(航空写真)



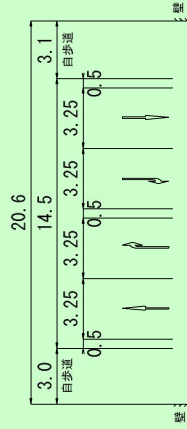
(主)高砂北条線 (西井ノ口交差点)

延長 180m
 幅員 19.0 (28.6)m
 事業費 900百万円
 事業期間 平成26~30年度

標準断面図

県道高砂北条線 (BP下)

整備前



整備後

